

第3回 地域懇談会のご案内

『安全・安心』（防災）をテーマに実施します。

第2回地域懇談会での意見交換をふまえ、第3回は防災の視点を中心として、今後のまちづくりの方向性などを検討します。

専門家をお招きし、専門家と一緒に、まちの安全・安心を点検、確認します。

ぜひ、お問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

プログラム

- 第2回までのふりかえり
- まちあるき
- 意見交換

アドバイザーとして、
専門家をお迎えします！

井上 赫郎 先生
(・小平市 地区まちづくり
審議会 会長
・まちづくりコンサルタント)



日時・会場

平成 31 年 3 月 16 日 (土)
14 : 00 ~ 16 : 30
@小川西町中宿地域センター
第一・第二集会室
(小平市小川西町 2-30-1)
(都営住宅 1 階)



みなさまの
ご参加お待ち
しています。



第2回 地域懇談会を開催しました！

平成 31 年 1 月 26 日 小川西町三丁目周辺地区のまちづくりについて考える「小川西町三丁目周辺地区 まちづくり地域懇談会」の第2回を開催しました。当日は、まちの課題を解決する取組内容について、アイデアを出し合いました。

議論の様子や結果の概要を報告します。

○ 意見交換

他のまちでの取組事例も参考にしながら、今後、小川西町三丁目周辺地区で取り組んでいくべき活動についてアイデアを出し合いました。



＜意見交換の結果＞

参加者のみなさんの関心が特に高かった「防災」「コミュニティ」「にぎわいづくり」を中心に意見を出し合いました。（以下、参加者のご意見。紙面の都合上、一部抜粋し掲載しています。）

「防災」に関すること

組織づくりと取組のスタートアップ

- ・まずは地域で組織づくりを行うことが必要。（自治会や民生委員等の方に、声をかけてみる）
- ・市の出前講座の活用や専門家との連携により、勉強会を開催する。
- ・消防団との連携ができるかを検討する。
- ・道路幅が狭いところなど危険なところを確認するまち歩きを行う。

ルールづくり等について考える

- ・下坂部川出地区を参考に、ルールづくりにより狭い道路の整備を検討する。

防災訓練をやってみる

- ・子ども、障がい者、高齢者などの参加意欲が高まる防災運動会などを実施する。
- ・災害時の避難や、避難先での生活を考える。

普段からできることを考える

- ・単身高齢者の居所を把握するなど、要支援者の防災対策を考えることが必要
- ・住民で公園を管理する「公園アダプト制度」を活用し、普段から防災活動にも取組み、防災倉庫を設置する。
- ・緊急時を想定して、道路を使用（自転車を置かない等）する。

「コミュニティ」に関すること

集まれる場所づくり

- ・銭湯や空き家を活用し、世代をこえた人が集まるとよい。

子育ての視点で考える

- ・公園に遊び道具を置く（防災倉庫等）。

イベントを通じたコミュニティづくり

- ・遊びの要素を含んだ美化活動など、楽しく参加できる方法を考える。

高齢者の暮らし

- ・高齢者の見守りサービスを考える。

「にぎわいづくり」に関すること

若い人たちに来てもらえる商店街をめざす

- ・若者や子どもが集まる飲食店があるといい
- ⇒市内の農家とタイアップできると人気が出るかも（商店街独自の商品を開発）。

自然を活かす

- ・野火止用水の水辺や緑の魅力を発信。

職業訓練校等との連携

- ・イベントなど、職業訓練校と一緒に出来る事を考えよう！
- ⇒一度話を聞いてみてもいいかも。

○ 他のまちでは？ ～取組事例に学ぶ～

第1回地域懇談会の議論を元に、小川西町三丁目周辺地区でのまちづくりの参考となるよう、事務局より他のまちの先進事例をご紹介します。一部をご紹介します。

銭湯を使ったコミュニティスペースづくり

「西京銭湯部隊沸いてるんジャー（京都市）」



▲京都市西京区で唯一の銭湯を守りたい有志が集まり、様々な集まりやイベントを実施しています。

自分たちで防災ルールをつくる

「下坂部川出地区 地区計画（兵庫県尼崎市）」



▲まちあるき等を通して、危険なところや課題を共有



▲安全なまちづくりのための建物等のルールを策定

《問合せ先》 事務局（小平市 都市開発部 都市計画課 計画担当）

電話 042-346-9554(直通) / FAX 042-346-9513 / e-mail toshikeikaku@city.kodaira.lg.jp